

まちづくり交付金 事後評価シート
須走地区

平成21年10月

静岡県小山町

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	小山町	地区名	須走地区		面積	107ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	2,420百万円	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	須走なかよし公園、水の広場(3ヶ所)、鎌倉往還道復元整備、本通り歩道整備、道の駅中心施設整備(観光交流センター)、立体遊歩道整備						
	提案事業	ユニバーサルデザイン点検事業、小鳥の音楽堂遊歩道整備、まちづくりフォーラム開催、須走交流空間マップ作成						
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	基幹事業	なし			-		-	
	提案事業	なし			-		-	
新たに追加した事業		基幹事業	なし			-		
		提案事業	道の駅観光レストラン特産品販売施設整備 事後評価検討調査		平成20年3月10日付計画変更追加 平成21年3月16日付計画変更追加		影響なし	
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-	
		変更	-					

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	指標2						モニタリング	評価値				
	須走地区内事業者の売上高指数	ポイント/年	100	H16	120	H21	113	117			あり なし	商店街の街並みが改善されたことにより、新店舗が進出した。	H23年5月
	宿泊客数	人/年	70,000	H15	80,000	H21	134,431	167,322			あり なし	本事業の開始に伴って、新たな宿泊施設が進出した	H22年4月
	NPO法人等主催のイベント参加者数	人/年	2,000	H15	5,000	H21	-	3,500			あり なし	参道商店街の街並みが整備され、参加者の増加が見られた	H23年5月

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	その他の数値指標2						モニタリング	評価値				

4) 定性的な効果発現状況
 ・須走本通りの歩道整備、須走なかよし公園整備により、通りに心地よい潤い空間が創出されたと、地域住民に喜ばれている。
 ・元々自治活動旺盛な地区であるが、今回の事業によって更に活動の幅が広がってきている。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	住民税課税台帳によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた		モニタリング同様に、台帳、調査表で確認する
		観光交流客数調査表によるモニタリング	都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できた		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	H17: 須走まちづくりフォーラム開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた		須走地域振興協議会は今後も継続して開催される	
	H17・H18: 須走地域(道の駅等)関連整備検討協議会	都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できた			
	H18: 須走まちづくり検討懇談会	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	H19: 須走地域まちづくり協議会				
持続的なまちづくり体制の構築	須走地域振興協議会	H20・H21: 須走地域振興協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できた		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

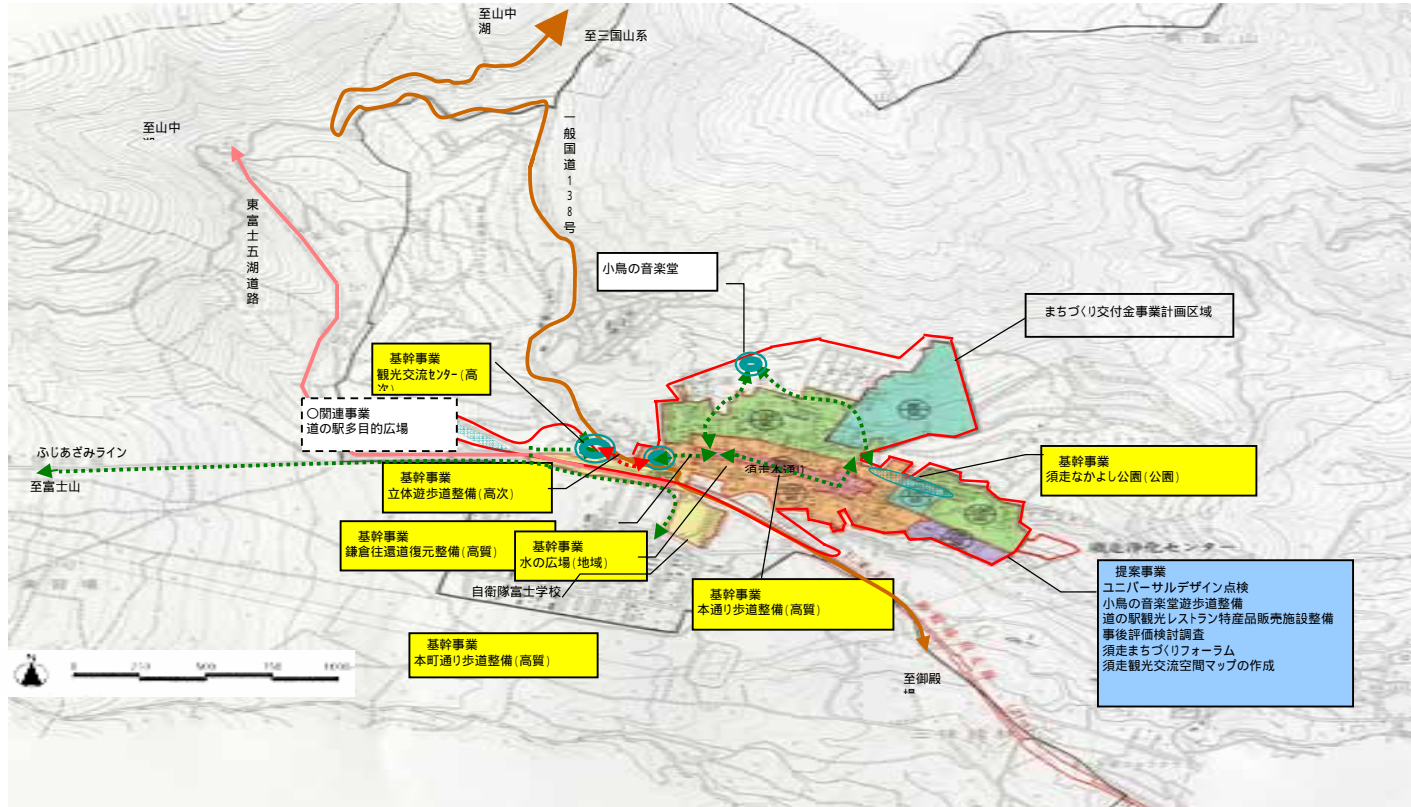
可能な限り地元住民の参加を主体としたまちづくりを推進する

様式2 - 2 地区の概要

須走地区(静岡県小山市)まちづくり交付金成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
交流人口拡大による地域再生(「未知の地域」を「美知の地域」へ) 水と緑と野鳥(地域資源)を活かした魅力の向上	須走地区内商業者の売上高指数 単位:ポイント/年	100	H16	120	H21	117	H21
	宿泊客数 単位:人/年	70,000	H15	80,000	H21	167,322	H21
	NPO法人等主催のイベント参加者数 単位:人/年	2,000	H15	5,000	H21	3,500	H21

整備方針概要図



凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅・観光交流センター、多目的広場、須走なかよし公園などの整備により滞留・交流施設の基盤は整った。 富士山の湧水を活かした水の広場の整備により、湧水の水音が聞こえる街並みが完成し、来訪者から好評を得ている。 鎌倉往還道の復元、須走本通り歩道の整備によって門前町としての街並み空間の向上が図られ、来訪者から好評を得ている。また本事業開始に伴って、新店舗等の進出が見られた。 須走地域振興協議会等の設立により、地域住民主体のまちづくり参加への意識が高まった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 滞留・交流施設の整備効果を更に向上させるため、個々の店舗の魅力アップを図る。また、道の駅・観光交流センター等で富士山湧水のPRを推進する。更に、門前町街並み整備効果を向上させるため、浅間神社の祭りに対応した緑日空間の充実化を図る。 門前町街並みに関する交流空間マップの充実化を図るなど滞留・交流施設のネットワーク化を強化するとともに、個々の水の広場に特徴を持たす。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1)成果の評価

- 添付様式1- 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1- 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2- 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- ~~添付様式2- その他の数値目標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2)実施過程の評価

- 添付様式3- モニタリングの実施状況
- 添付様式3- 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3- 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3)効果発現要因の整理

- 添付様式4- 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4- 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- ~~添付様式4- 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

(4)今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5- 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5- まちの課題の変化
- 添付様式5- 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5- 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- ~~添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)~~

(5)事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6)まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7)有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1)成果の評価

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A.まちづくりの目標			-	-	-
B.目標を定量化する指標			-	-	-
C.目標値			-	-	-
D.その他()			-	-	-

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園	須走なかよし公園	100	1.4ha	103	1.3ha	平成20年11月計画変更 H18国土調査に基づく面積確定	影響なし		
地域生活基盤施設	水の広場	75	3箇所 900m ²	53	3箇所 270m ²	平成20年11月計画変更 地域との合意面積縮小とそれに 伴う事業費の縮小	影響なし		
高質空間形成施設	鎌倉往還復元整備	30	L = 300m W = 2.0m	45	L = 158m W = 2.0m	平成20年11月計画変更 一部道の駅第2駐車場に変更 地形上の増額・用地費の追加	影響なし		
	須走本通歩道整備	186	1,000m	147	610m W = 2m	平成20年11月計画変更 建築物近接区間390mについて 除外による事業費の縮小	影響なし		
高次都市施設	観光交流センター	1,864	3.0ha 1,500m ²	1,606	3.0ha 1,000m ²	平成20年3月計画変更 営業施設部分を基幹事業面積 から除外	影響なし		
	立体遊歩道	50	L=340m W=3.5m	158	L=120m W=2m	平成20年11月計画変更 詳細検討によるルート・基礎形式 の決定に伴う増額	影響なし		
既存建造物活用事業									
公営住宅等整備									

提案事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	ユニバーサルデザインの推進	5	委託調査費 工事費	5	委託調査費 工事費	なし	影響なし		
	小鳥の音楽堂遊歩道整備	30	1,000m ²	99	3,650m ²	平成20年11月計画変更 地域の要望により生活道路として 幅員2mから6.5mに変更	影響なし		
	道の駅観光レストラン特産品販売施設整備	-	なし	192	530m ²	平成20年3月計画変更追加 交流機能の拡充	影響なし		
事業活用調査	事後評価検討調査	-	なし	3	委託調査費	平成21年3月計画変更追加	影響なし		
まちづくり活動推進事業	フォーラムの開催	6		4		平成21年3月計画変更 事業計画策定完了に伴う余剰	影響なし		
	須走地区交流空間マップ作成	5		5		なし	影響なし		

1.事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
道の駅整備事業		一般国道138号・須走地区	726	726	平成17年度 ～平成20年度	平成17年度 ～平成21年度	R138号から道の駅への進入路等工 事着手、引続きトイレ等整備予定	
多目的広場整備事業		道の駅計画地隣接地	514	780	平成17年度 ～平成20年度	平成19年度 ～平成21年度	平成22年度供用開始予定	

添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度 2		1年以内の 達成見込みの有無	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし			
指標1	須走地区内商業者の 売上高指数	ポイント/年	平成16年度及び平成20年度の法人町民 税課税台帳よりサンプル抽出し、評価基 準日における評価値を推計する。	-	-	100	H16	120	H21	モニタリング	H20	113	モニタリング		
										事後評価	確定 見込み	117	事後評価		
指標2	宿泊客数	人/年	平成15年度～平成20年度商工観光課調 査データを基に一次回帰分析により評価 基準日における評価値を推計する	-	-	70,000	H15	80,000	H21	モニタリング	H20	134,431	モニタリング		
										事後評価	確定 見込み	167,322	事後評価		
指標3	NPO法人等主催のイ ベント参加者数	人/年	富士浅間神社祭典委員会にヒヤリングを 行い、概ねの参加者数を把握する。	-	-	2,000	H15	5,000	H21	モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定 見込み	3,500	事後評価		

指標	目標達成度 × の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	現段階では多少の改善は見られるものの、道の駅及び関連事業が平成22年度に繰り越していることから平成21年度の目標値に達することは難しいが、平成22年度の推計値は120に達すること、平成22年度末供用開始予定の道の駅の効果も含めて、1年以内に目標値を達成する見込みはある。	-
指標2	本事業の開始に伴って、平成18年度に須走地区内に新たな宿泊施設(富士之堡華園ホテル)が開業したことにより目標値を達成することがほぼ確実にされた。	-
指標3	現段階では多少の改善は見られるものの、道の駅及び関連事業が平成22年度に繰り越していることから目標値に達していないが、平成22年度末に完成予定の道の駅の利用者が多く参加することが見込まれることから、1年以内に目標値を達成する見込みがある。なお、祭典が開催される5月の連休中の道の駅利用者は既存の「道の駅ふじおやま」の実績から約2千人/日が見込まれる。	-

添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・須走本通りの歩道整備、須走なかよし公園整備により、通りに心地よい潤い空間が創出されたと、地域住民に喜ばれている。
- ・元々自治活動旺盛な地区であるが、今回の事業によって更に活動の幅が広がってきている。

(2)実施過程の評価

添付様式3 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	実施状況				
指標1:須走地区内商業者売上高指数 住民税課税台帳によるモニタリング	予定どおり実施した		【実施頻度】初年度と平成20年度 【実施時期】各年度3月 【実施結果】採用した指標は、住民税課税台帳をもとに税務課で指数化を行ったものである。		モニタリング同様に住民税課税台帳を基に確認する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
指標2:宿泊客数 観光交流客数調査表によるモニタリング	予定どおり実施した		【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度3月 【実施結果】採用した指標は、商工観光課で行っている観光交流客数調査の内、宿泊者数を抽出したものであり、交付期間中に供用した事業の効果を確認することができた。		モニタリング同様に観光交流客数調査表を基に確認する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	実施状況				
H17:須走まちづくりフォーラム開催 H17・18:須走地域「道の駅等」関連整備検討協議会 H18:須走まちづくり検討懇談会 H19:須走地域まちづくり協議会 H20・H21:須走地域振興協議会	予定どおり実施した		【実施頻度】計14回 【実施時期】平成17～21年度 【実施結果】自治会代表等の地元関係者で構成する本協議会において、各種施設整備に対する意見・要望・利用推進策等について議論し、住民主体のまちづくり事業が行われることに貢献している。		今後も須走地域振興協議会は継続して開催される。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	実施状況		. 体制構築に向けた取組内容	. まちづくり組織名・組織の概要	
須走地域振興協議会	予定どおり実施した		環境対策、道路等地区施設の維持管理 対策、観光・商業振興推進に関する地元組織の参加体制について管理者である行政との協議・調整を行っている。	須走地域振興協議会 会員28名(区長、各種団体代表等)、年3回程度開催	可能な限り地元住民の参加を主体としたまちづくりを推進する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3)効果発現要因の整理

添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(まちづくり交付金事後評価検討チーム)	・企画調整課 ・都市整備課 ・商工観光課 ・税務課	・第1回 平成21年6月17日 ・第2回 平成21年11月上旬	都市整備課(まちづくり交付金担当課)

添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		その他の数値指標	
指標名		須走地区内商業者の売上高指数		宿泊客数		NPO法人等主催のイベント参加者数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園(須走なかよし公園)		商店街の街並みが改善され、買物し易い環境形成が図られたことによって、新たな飲食系店舗が開業するなど徐々に事業効果が見られるようになった。また、道の駅及び道の駅関連事業が平成22年度に繰り越されているが、平成22年度末に供用開始されるため更に買物客は増加する。	本事業開始の効果により、平成18年度に新たな集客力のある宿泊施設(富士之堡華園ホテル)が開業するとともに、平成22年度末供用開始される道の駅の効果により更に宿泊客数は増加する。	富士浅間神社に至る本町通り歩道整備により、門前町としての高質な空間形成が図られたことにより、浅間神社礼大祭の参加者も徐々に増加している。平成22年度末に供用開始される浅間神社に隣接する道の駅利用者(5月連休中約2千人/日利用見込み)の参加により飛躍的に増加する。				
	地域生活基盤施設(水の広場)								
	高質空間形成施設(鎌倉往還道復元)								
	高質空間形成施設(須走本通歩道)								
	高次都市施設(観光交流センター)								
提案事業	高次都市施設(立体遊歩道)								
	ユニバーサルデザイン点検事業								
	小鳥の音楽堂遊歩道整備								
関連事業	須走まちづくりフォーラムの開催								
	須走観光交流空間マップ								
関連事業	多目的広場								
	道の駅								

指標改善への貢献度

- ・:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ・:事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- ・:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業との間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	道の駅と商店街との回遊性を向上させ、相乗効果による買物客数の増加を図る。	フィルムコミッション活動などの地元受入体制の確立を図り、滞在型の交流システムの構築を図る。	道の駅、旅行会社、公共交通機関などでのPR活動を強化していく。

(4)今後のまちづくり方策の作成

添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(まちづくり交付金事後評価検討チーム)	・企画調整課 ・都市整備課 ・商工観光課 ・税務課	第1回 平成21年6月17日 第2回 平成21年11月上旬	都市整備課(まちづくり交付金担当)

添付様式5 - まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
滞留・交流施設の整備	道の駅・観光交流センター、多目的広場、須走なかよし公園などの整備により滞留・交流施設の基盤は整った。	-	-
自然環境に配慮したまちづくり	富士山の湧水を活かした水の広場の整備により、湧水の水音が聞こえる街並みが完成し、来訪者から好評を得ている。	-	-
門前町としての街並み整備	鎌倉往還道の復元、本町通りの歩道整備により門前町としての街並み空間の向上が図られ、来訪者から好評を得ている。また、本事業開始に伴って、新店舗等の進出が見られた。	-	-
活性化実施体制の確立	須走地域振興協議会等の設立により、地域住民主体のまちづくりに対する様々な議論がなされ、地域住民のまちづくり参加への意識が高まった。	-	-

添付様式5 - 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	門前町商店街の賑わいの持続	・滞留・交流施設の整備効果を更に向上させるため、個々の店舗の魅力アップを図る。 ・道の駅・観光交流センターで富士山湧水のPRを推進する。 ・門前町としての街並み整備効果を更に向上させるため、浅間神社の祭りに対応した縁日空間の充実化を図る。	・景観整備事業を検討 ・地域ブランド商品の開発事業を検討
	滞留・交流施設の回遊性の持続	・門前町街並みに関する交流空間マップの内容の充実化を図るなど滞留・交流施設のネットワーク化を強化する。 ・謂れと命名など3ヶ所の水の広場にそれぞれの特徴を持たす。 ・パードウォッチングの発祥地としてのPR強化	・須走商店街等のホームページの立ち上げ事業を検討

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	-	-	-
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	-	-
	-	-	-

様式5 - の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市差製整備計画)を再確認した。
	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4 -)を再確認した。
	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4 -)を再確認した。
	残された課題や新たな課題(添付様式5 -)を再確認した。

添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

指標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
指標1	指標2	指標3					確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他の特記事項	
指標1	須走地区内事業者の売上高指数	ポイント/年	100	H16	120	H21	確定		117		あり	→	平成23年5月	住民税課税台帳より平成22年度売上高を指数化し確定値とする。	道の駅事業等が平成22年度に繰り越されたことによる
指標2	宿泊客数	人/年	70,000	H15	80,000	H21	確定		167,322		あり	→	平成22年4月	観光交流客数調査表より平成21年度の宿泊客数を抽出し確定値とする。	
指標3	NPO法人等のイベント参加者数	人/年	2,000	H15	5,000	H21	確定		3,500		あり	→	平成23年5月	平成23年5月4～6日の参加者数を調査員によってカウントし、確定値とする。	道の駅事業等が平成22年度に繰り越されたことによる
							見込み				なし				

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・既存の道の駅「ふじおやま」の盛況ぶり(H20利用者約68万人)の易経を受けて、本事業の開始に伴って新店舗、新宿泊施設等の進出が見られ、h20の実数も含めて、道の駅の供用開始の1年後に目標値を達成することが確実にいった。	特定の地区のデータ収集が可能な指標を設定することが望ましい。また、過度な数値目標を設定しないこと。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・小山町の宿泊施設の大半が須走地区にあり、H10から宿泊施設に対する宿泊客数のアンケート調査が実施されていたこと。売上高については、住民課税台帳がデータベース化されていたこと。	短期的に事業効果が期待できる事業の導入が望ましい。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	当初から、地元住民代表等の参加によるまちづくり協議会が設立され、計14回にわたる協議の成果が本事業に活かされたこと。その結果、自主的なまちづくり運営の機運が高まったこと。	住民参加は、事業完成後の持続的なまちづくりを行う上で不可欠である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		短期的に効果のある事業ばかりではないのでフォローアップ計画が重要になる。
	うまくいかなかった点	富士浅間神社礼大祭の参加者数が、主催者による概ねの発表数値であったこと。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6 - 参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5)事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成21年10月19日～10月30日	平成21年10月19日～10月30日	担当課への電話、FAX、電子メール	都市整備課 (まちづくり交付金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に町のホームページ・窓口閲覧で原案を公表している旨を掲載	平成21年10月15日発刊 広報小山おしらせ10月15日号	平成21年10月19日～10月30日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧	平成21年10月19日～10月30日			

住民の意見	
-------	--

(6)まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	・廣畠康裕 豊橋技術科学大学建設工学系教授(交通工学、土木計画学) 座長 ・川口良子 (株)川口建築都市設計事務所専務(建築、都市景観)	平成21年11月下旬	都市整備課 (まちづくり交付金担当課)	まちづくり交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	・米山彰 地区住民				

審議事項 1		委員会の意見
事後評価手続きにかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		